

学校教育目標「豊かな人間性とたくましく生き抜く力を身につける子どもの育成」



敷島南小学校  
学校便り NO.22  
令和 6年1月  
学校長 五味 正年

2月3日は、節分です。豆まきの他、ヒイラギの枝にイワシの頭を刺して玄関先にかざったり、年の数だけ豆を食べたり、今年の運気がよい方角（恵方）を向いて恵方巻きを食べたり、各家庭で様々な節分の習わしが行われることと思います。子どもたちには、日本の伝統行事に親しみ、日本文化を受け継いでいってほしいと思います。

さて、節分の鬼は、人間の煩惱の種類によって色わけされているそうです。赤は欲張りな心、青は人を憎む心、黄色はわがままな心、緑は怠け心を表わしているという説があります。例えば、わがままな鬼、迷惑鬼、怠け鬼、ふざけ鬼、怒り鬼、忘れ鬼、ちらかし鬼、ゲームやりすぎ鬼など、いろいろな鬼が子どもたちの心の際を狙っています。油断しているとすぐに心の中に入り込んでくる鬼。子どもだけでなく、私たち大人も気をつけなければと思います。

## コミュニティスクールに向けて

本校には、登下校を見守ってくださる「見守り隊」の方々が出て、朝は交通量が多かったり、道幅が狭かったりするところでは、登校班の子どもたちと一緒に学校まで送ってくださる方がいます。また、帰りは子どもたちの下校の時間に合わせて大勢の方が出て、交通量の多い交差点や狭い道路の横断歩道など危険箇所を立て、子どもたちの安全を守ってくださっています。そのおかげで、毎日、子どもたちは安全・安心な登下校ができていると感じています。子どもたちのための活動に感謝申し上げます。

支部の保護者の方々も、子どもたちが危険箇所を安全に横断できるように、朝、旗振りを行っています。保護者の方々のこの活動が1日も途絶えることなく、責任をもってやったださっているおかげで、子どもたちは安心して安全に登校できています。ありがとうございます。

このように地域や保護者の方々に支えられ、本校の教育活動も充実していきます。

来年度は、本校を含め甲斐市の小中学校全部が「コミュニティスクール」になります。コミュニティスクールって何?と思われるでしょう。コミュニティスクールは、『コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みです。』（文部科学省のコミュニティスクールの資料より）となっています。本校での取組としては、地域や保護者の方々とともに、一緒に子どもたちを育て「地域とともにある学校」をめざしていきたいと考えています。何か新しいことを早急に始めるということではなく、上記のような地域や保護者の方々の活動や、コロナ以前や今年度のように子どもたちの学習や学校生活環境の整備に力を貸していただくことによって、学校教育を充実させるとともに、地域の活性化にも貢献していければと思います。

## 私が見つけた素敵な光景

最近、寒さが厳しく、強く冬を感じる日々が続いていますが、寒さが和らぐ中休みや昼休みの時間に、元気よく校庭に遊びに出てくる子どもがたくさんいます。その中に、子どもたちに交じり担任の先生と一緒に遊ぶ姿も見られます。私も、学級担任をしていた頃、子どもたちと一緒に遊んだことを思い出しました。

最近、多くの子どもたちは、「なわとび」と「野球」をして遊んでいます。「なわとび」をする子が多いのは、児童会の「しきなんカップ（長縄大会1月30日中休み）」を控えているからだと思います。競技は、1チーム10人程度で組み、8の字跳びを3分間行い、より多い回数を跳べたチームが表彰されるというものです。多くのチームが大会に向けて、一生懸命練習していました。その中に、縄を子どもと一緒に回している先生がいました。その先生は、励ましやアドバイスの声をかけながら、子どもたちが跳びやすいようにタイミングを取りながら回していました。子どもたちは、先生の声に応じて、楽しそうに跳ぶことができていました。



「野球」については、大谷選手からいただいたグローブの影響なのか、以前と比べ、多くの子どもたちがやっているのを見かけます。大谷グローブを紹介した後、全員がそのグローブを使えるよう、6年生から順番に学級に回すようにしていることも一つの要因かもしれません。今（1月29日現在）は6年生にそのグローブが回っているため、野球をしているのは6年生が多いですが、下の学年の子どもたちもキャッチボールをする姿が見られます。こちらにも、子どもたちとキャッチボールをしている先生がいました。「せっかくの大谷グローブをみんなにも使ってもらいたいと思い、一緒にやっている。」と言っていました。こういう機会と一緒にできることがとても大切だと感じています。子どもたちと一緒に遊び、子どもたちを理解するためにはとても大切な時間だと思います。



他にも、休み時間の定番であるドッジボールやサッカーも人気です。こちらにも、子どもたちと先生と一緒に遊ぶ姿が見られます。次の時間の準備をしたり、教室に



いる子どもたちと話をしたり、授業でわからなかったところを教えたりすることもあるので、毎日、毎回、校庭で遊ぶというわけにはいかないわけですが、一緒に遊んでいる子どもたちも先生も、とてもいい顔をしていることを嬉しく思いました。

